

団結祭ニュース

「繋がる」の一言から始まった団結祭



今年の団結祭を漢字一文字で表すと

『繋』

ダンシングヒーロー、綱引き、他学年の応援などから全校が一体になって繋^{つな}がっている感じがしたため、この漢字を選んだようだ。

そんな、繋^{つな}がるの一言から始まった団結祭。

初めは、応援や競技など全体のまとまりがなかった雰囲気だったけれど、昼休みや放課後練習の際に、仲間と声をかけあい、自分から積極的に動くということを意識し始めたことから、だんだん皆が一致団結して「繋がる」に一步ずつ近づいてきた。そのことから、団結祭練習の時には練習を重ねるごとに、クラスで工夫を重ねて台風の目のジャンプで上手に出来るようになったり、パスラインで連続回数が伸びるようになったりしてきていた。

団結祭本番では練習の時より声が出ていて盛り上がっていた。そして、台風の目や玉入れ、綱引きは、とても白熱した戦いになり、参加している人はもちろん見ている人も楽しめる勝負だった。また、それぞれの団がとてもまとまった雰囲気でも、「繋がる」という言葉がピッタリな団結祭になった。

黄団、学年を超えた団結で優勝！



黄団団長にインタビュー！

Q. 団結祭が終わった後の気持ちは？

A. 黄団**最高すぎる！！**泣きそう。

Q. 団結祭は目指していた形になったか？

A. 運動が苦手な人まで楽しめて、思い出に残る団結祭になった。



1年生の黄団では、パスライン本番で新記録が出ました。台風の日では練習の時になかなか1位は取れずに苦戦していましたが、団結祭本番で仲間からの応援を受けて、1位や2位になることができました。1位をとった時には黄団全員で喜びました。

応援歌では、黄団全員で声を合わせ大きな声で応援しました。「君の瞳に恋している」の応援歌では、みんなではちまきを回して応援することができました。この応援のおかげで優勝できたのかもしれないね。

黄団全員が応援を頑張ったおかげで副団長の一発ギャグも見られました。





桃団

～完全燃焼～



選手が団席に帰ってきた時に、温かい拍手で迎え入れていました。

各種目の結果発表の時、どの順位でも選手も団席も喜んでいて、いいと思いました。



どの学年も、応援で桃団を盛り上げようと、精一杯声を出していました。

結果は残念だったけれど、桃団の団結力をものすごく感じられて、最高の団結祭になったと思います。

〈団長へのインタビュー&メッセージ〉

Q. 団結祭はどうか。

A. 他の団と競うために声を出せない人の分まで出して全力で楽しんでいた。

Q. 練習でどのようなことを工夫しましたか。

A. 係がない人以外練習に参加してもらい、声を出せる人が積極的に声を出す。

Q. 桃団の皆さんにメッセージを

A. 結果は悔しかったけど、全力で楽しんで、本気で取り組めていて、最高だった!!

応援がすごい！青団

今年は5月の団結祭となりました。

青団はパスをつなげる「パスライン」や、各学年種目の「台風の目」を多く点数を取れるように練習してきました。練習では、仲間がミスをしたも「ドンマイ」「次頑張ろう」などの励ます声や、「ナイス」「今のいいね!」という人を褒める姿がありました。

本番でもこのような姿がありました。

青団は**応援**がすごかったです。応援では他の団に負けないくらい、青団はドラム缶などを使い、みんなでダンスをしたり、腕を組んだりして、大声で応援をしました。喜ぶときは競技をした人も、応援をした人も大声で喜んでいて、「**団結**」ができたと思います。

団長にインタビューしてみました。

Q. 頑張ったことは？

A. 応援です。

Q. どう工夫しましたか？

A. 日頃の挨拶から声を出しました。

Q. 一番の思い出は？

A. 解団式での団員からのサプライズ

Q. 達成できたことは？

A. みんなで泣いて終われたこと。

Q. できなかったことは？

A. 優勝

Q. 団員全員が団結できた団結祭でしたか？

A. **もちろん！**

Q. 団長のやりがいは？

A. 選手宣誓

Q. 練習の様子で印象に残ったことは？

A. 苦手な子をみんなでカバーしているところ。

Q. 最後に一言!!

A. **青団サイコー**です！

